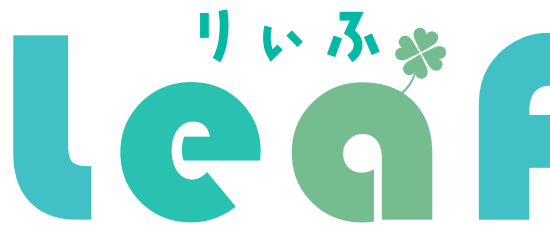


常磐病院
地域連携だより<https://www.tokiwa.or.jp/leaf/>

October 2023

TAKE FREE

尾崎章彦医師ご挨拶 福島県内・いわき市内をはじめとする、近隣関係医療機関の皆様におかれましては、日々の患者さんご紹介や診療行為に関

ときわ会常磐病院では、福島県内・いわき市内の各医療機関と連携し、乳腺外科診療を拡充しています。一人でも多くの患者さんへ適切な治療を提供するため様々な取り組みを行っています。

するご支援とご助力を賜り心より御礼申し上げます。乳腺外科を2018年に立ち上げて以来、「飛び込みの受診もお断りせず」をモッ



常磐病院

Breast surgery

乳腺外科

乳腺外科では手術療法と薬物療法、放射線療法を組み合わせて治療を行います。手術は、がん細胞が局所にとどまる場合は乳房部分切除を、部分切除が適応とならない場合は乳房切除（全摘出）術を行います。また、画像等で腋窩リンパ節転移があれば腋窩リンパ節郭清を、なければ転移の可能性があるリンパ節をサンプリングして検査します。薬物療法は、乳がんの進行度やタイプに合わせて、ホルモン療法、細胞障害性抗がん剤、抗HER2療法、免疫療法を使い分けられます。放射線治療は、乳房部分切除を行った場合のほか全摘時でも複数のリンパ節転移がある場合には実施し

常磐病院 乳腺外科の診療について

トーに診療を続け、5年間で外来延べ患者数は2万2千人を超えております。また、2022年の乳がん手術件数は108件、外来化学療法実施件数は603件であり、2023年はさらに多くの方々の治療に携わらせていただいております。この数字は、関係医療機関の皆様からのご支援・ご指導の賜物であり、また、多くの地域住民の方々が乳腺の専門的な診療を必要とされている現状を反映しているものと捉えております。本紙では当科での取り組みを、ほんの一部ですがご紹介させていただきます。



乳腺甲状腺外科診療部長
尾崎章彦 医師

手術療法時の乳房切除では乳頭・乳輪を含めた乳房全てを切除します。がんが大きい場合や、がんが乳腺組織の広範囲に広がっている場合、がんが乳房内に多発している場合など、乳房部分切除術が適用できない場合に適応となります。早期の病変においては乳房再建手術も適応となります。当院においては、福島県立医科大学の形成外科と連携して、乳房切除後の乳房再建手術を実施しています。

① 乳房切除と再建

ます。患者さんの社会背景まで考慮した治療の個別化を重視しており、妊孕性の温存、乳癌卵巣癌症候群の検索、全摘出を実施した患者への乳房再建術の提案、オンコタイプDX、乳がん再発保障保険の紹介など最新の話題についても、院外の医療機関と連携しながら進めています。

ときわ会常磐病院では、地域の医療施設・介護施設との連携を強化するため、当院の最新の医療情報を定期的にお知らせしております。

② 妊孕性温存

乳がんにおいては、抗がん剤の投与に伴い、妊孕性が低下することが知られています。現在は、妊孕性を温存する目的で、抗がん剤の投与に先立って、未婚の女性においては未受精卵凍結（いわゆる卵子凍結）を、既婚のパートナーがいる女性においては受精卵凍結（いわゆる胚凍結）を、実施することが可能となっております。一般には、乳がんの治療が一通り終了した段階での胚移植・妊娠を目指します。当院においては、いわき婦人科と連携しながら妊孕性温存療法を行なっています。

③ 遺伝子外来診療

常磐病院では2020年8月25日より遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）の患者さんを対象とした「遺伝子外来」を開設しています。乳がんや卵巣がんの一部は遺伝的な要因が関



【検査対象となる方】

- 45歳以下の乳がん
- 60歳以下のトリプルネガティブ乳がん
- 2個以上の原発性乳がん
- 第3度近親者内に乳がんまたは卵巣がんの家族歴を有する乳がん
- 男性乳がん
- 卵巣がん、卵管がん、腹膜がん

④ オンコタイプDX検査

手術で切除した組織を用いて、がんの性質を分析します。この分析結果から、がんの診断から10年以内の再発の可能性を予測するとともに、化学療法の有効性についても分析します。特に早期がんで不必要な抗がん剤の投与を防ぐことができます。

⑤ 乳がん再発保障保険

「乳がん再発保障保険」は、乳がん罹患後に加入できる保険です（※一部例外を除く）。がんの再発に備え、自分・家族の健康を守る保険となっております。患者様の状況に応じてご紹介しております。

TOP1+ 01
ピンクリボンキャンペーン月間
外壁をピンク色にライトアップしました



10月1日～31日は「ピンクリボンキャンペーン月間」です。常磐病院では、10月1日～15日の期間中、キャンペーン啓発のため、外壁をピンク色にライトアップしました。
「ピンクリボンキャンペーン」は、乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の早期受診を推進することを目的とする、世界規模の啓発キャンペーンです。乳房の違和感・不安などがありましたら、「乳腺甲状腺外科」までお気軽にご相談ください。

TOP1+ 02
ピンクリボン特別講演会 開催
ネパールのヨゲンドラシン教授が来院

10月17日、常磐病院「講堂」にて、ネパールカトマンズに位置するトリバン大学教育病院外科腫瘍科教授兼部長のYogendra Singh（ヨゲンドラシン）先生をお招きし「ネパールにおける地域密着型乳がん検診の成果―半農村地域の事例研究からの洞察―」というタイトルで、現地の乳がん診療や乳がん検診をテーマにご講演いただきました。



ヨゲンドラシン先生(左)と講演会の座長を務めた尾崎医師(右)

リードし半農村地域での乳がん検診の受診率を上げた「乳がん検診プロジェクト」についてお話をいただきました。
いわき市においても「乳がん検診」の受診率の低さが課題となっております。今回のシン先生の講演を参考に、常磐病院では今後もいわき市における乳がん検診の受診率向上に努めてまいります。



公益財団法人ときわ会 常磐病院 (院長 新村浩明)
地域医療連携課

窓口受付/毎週月曜日～金曜日 8:30～17:00
〒972-8322 福島県いわき市常磐上湯長谷町上ノ台57番地
TEL:0246-81-5522 / FAX:0246-81-5577

ときわ会常磐病院では、診療科の増加に伴い診察可能な疾患も増えました。患者様のご紹介に関しまして、今後もお気軽にお問い合わせくださいますようよろしくお願いいたします。